

「化学関連産業の経営課題」
2050年の化学関連産業を考える
～カーボンニュートラルを目指して～

2022年

3月17日(木) 13:00～17:30

オンライン学会会場 SS-3セッション

参加無料 (要参加登録) 学会会員以外も参加可

参加登録 <http://www3.scej.org/meeting/87a/attend/>

<概要>

新型コロナは、新自由主義経済がもたらした「地球温暖化」と「経済格差」問題をクローズアップした。特に世界中で多発する異常気象による災害は、「地球温暖化」への早急な対応を世界に求めており我が国でも喫緊の課題になっている。

この課題は化学産業にとっては死活問題ともなりかねず、2050年を見据えた企業の舵取りが重要になってきている。

今回は、「新しい資本主義社会」を念頭に、企業環境の変化、世界の動向、先進的な企業の紹介などを通じて、我が国の化学関連産業の2050年に向けた長期展望を議論する。

<SS-3 プログラム>

13:00 挨拶 (経営システム研究委員会) 宮木 宏尚

13:15 宇沢弘文「社会的共通資本」から現代の課題を考える
(宇沢国際学館代表取締役・内科医) 占部 まり

14:00 COP26グラスゴー会議報告ー海外の動向と日本の課題ー
(CAN-Japan/気候ネットワーク・弁護士) 浅岡 美恵

14:35 持続可能な植物資源生産のための化学産業の役割
(東京大学未来ビジョン研究センター准教授) 菊池 康紀

15:10～15:20 <休憩>

15:20 TCFD(気候関連財務情報)を巡る動向
(有限責任監査法人トーマツ 監査アドバイザリー事業部) 黒崎進之介

15:55 先進企業の取組み事例紹介
(経営システム研究委員会) 松田 順

16:30～17:30 全体討論